

## 2 生徒と同僚教師による授業評価を生かした授業改善（事例2）

普段の授業において、教師は常に生徒の学習状況を評価しながら、臨機に改善を行っています。その評価や改善の手立ての妥当性を高めるために、授業者だけの判断ではなく、授業を観察した教師や授業を受けた生徒の意見を聞くという方法もあります。授業研究会における授業分析をより確かなものにするために、同僚教師による授業評価に加えて、生徒による授業評価を取り入れた授業研究会を行いました。

### （1）授業評価に関する取組の現状と課題

B校では、学校評価の参考資料とするために、生徒による授業評価を毎年9月末に行っています。質問には、生徒自身の授業に臨む姿勢に関するものの他に、教師の指導に関する次の5つの質問があります。同校の学校評価委員会が集計・分析し、結果を生徒や保護者に公表します。また、教員に改善案を示すとともに、改善策を求めます。

#### 授業評価の質問項目（教師に関する評価）

- ① 授業の始まりから終わりまで意欲的に取り組んでいるか。
- ② 授業の内容に対し、生徒の興味関心を引き出す工夫や努力をしているか。
- ③ 説明の仕方は分かりやすいか。
- ④ 授業で分からなかったところを先生に質問しやすいか。
- ⑤ 課題・宿題は、量・内容ともに適切か。

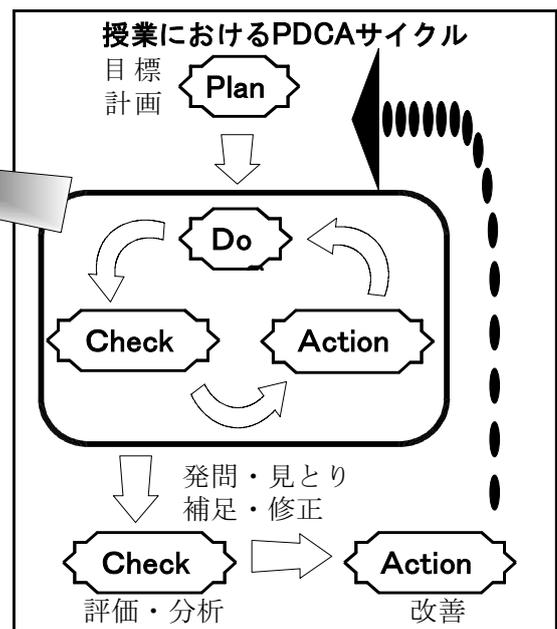
B校での取組では、生徒による授業評価は1年に1回だけの実施のため、ある授業時間や単元についての評価ではなく、個々の教師の授業に対する総括的な評価となっています。評価結果は概ね良好ですが、評価結果の分析の結果を踏まえて、教師からは意欲的な改善策が出されています。一方、同僚教師が参加する授業研究会は、総合教育センターの基本研修で指定される以外にはあまり行われていませんでした。

教師は生徒の学習状況を踏まえて指導計画を立てて授業に臨んでいます。その上で、実際の授業では、生徒が理解できていないような状況が生じた場合に、補足説明したり説明の仕方を変えたりするなど、臨機に指導の改善を行っています。



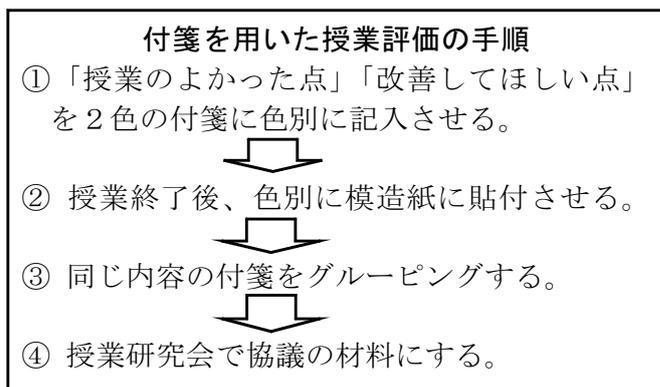
#### 【B教諭の授業評価のメインテーマ】

授業中の生徒とのやり取りの中で行われる、**発問、見取り（反応・理解度）、説明の補足**などが適切であったかどうかを評価し、授業者自身及び授業観察者の授業改善に生かす！

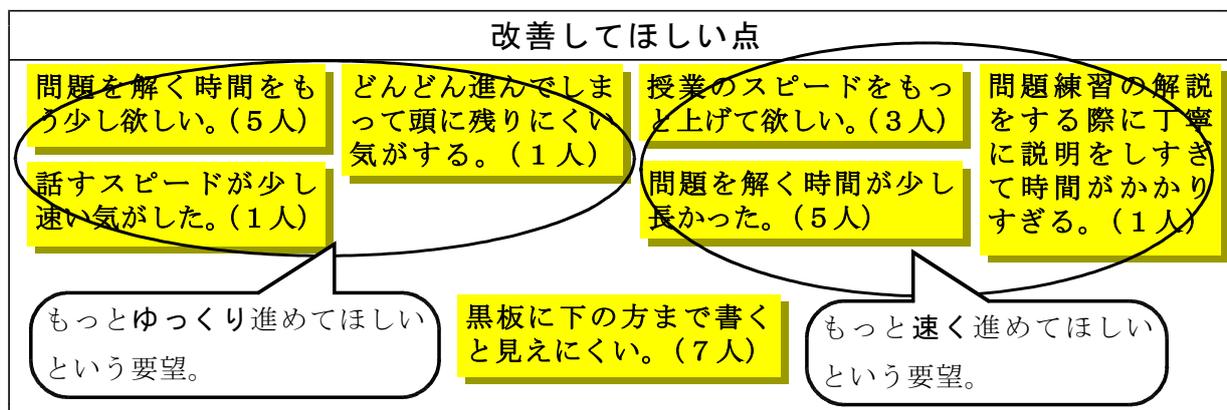
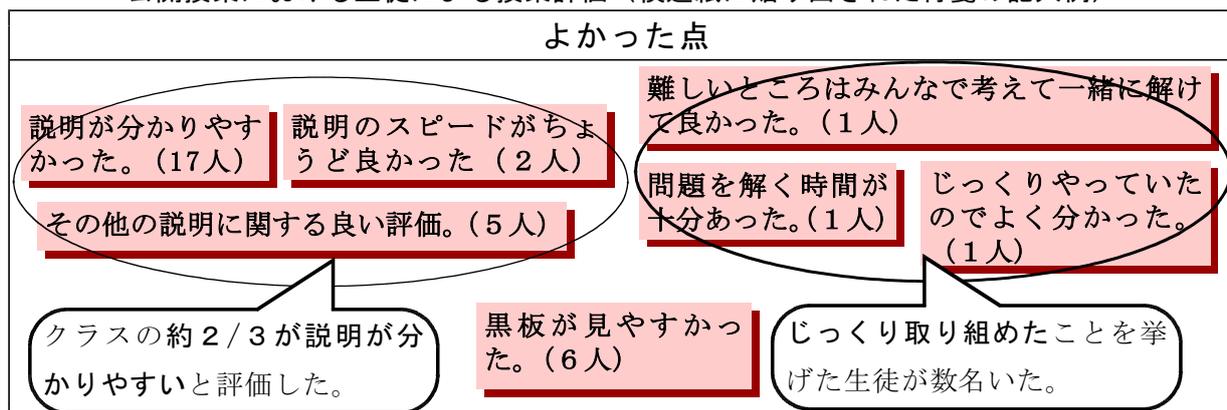


## 2) 生徒による授業評価を生かした授業改善

一般的に用いられている質問項目の多いアンケート方式の評価票を使って、研究授業の際に生徒による授業評価を行い、それを次時に行う授業研究会で検討の材料にしようとしても、集計に時間がかかります。そのため回答状況を概観したり、自由記述を拾い読みする程度で精一杯です。そこで、B教諭は、2色の付箋を用いて、「授業のよかった点」と「改善してほしい点」を生徒に書かせました。授業後、記載内容が同様の付箋をグルーピングすることで、評価の概要を視覚的にとらえることができ、迅速かつ適切に授業改善に生かすことができました。



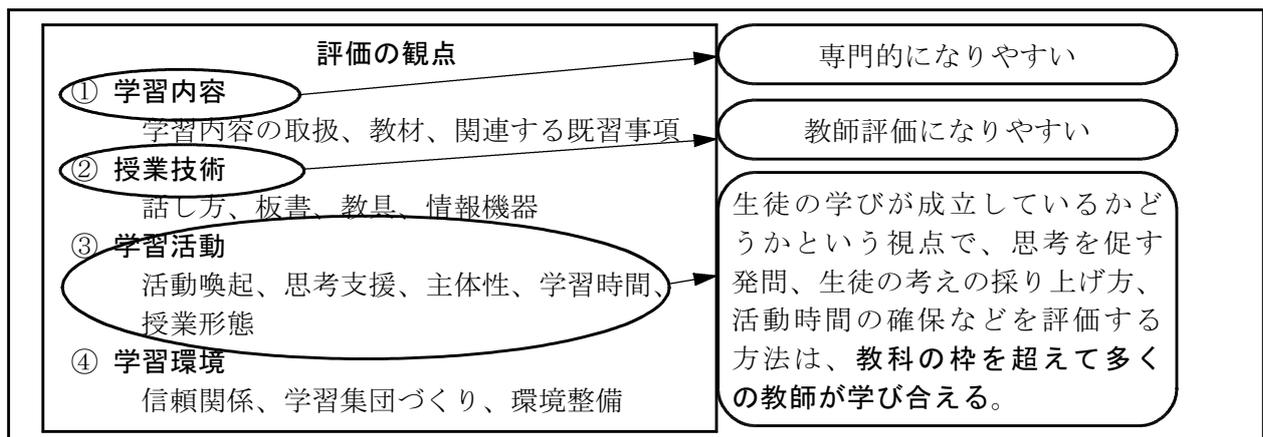
公開授業における生徒による授業評価（模造紙に貼り出された付箋の記入例）



グルーピングによって分かった特徴的なことは、多くの生徒が説明が分かりやすいと満足しているながら、授業を「**もっとゆっくり進めてほしい**」という要望と、「**もっと速く進めてほしい**」という要望の、相反する要望に二分されていたことです。これは、「改善してほしい点」を個々の生徒に聞いたことで明らかになったことです。

### (3) 全ての参加者に学びをもたらす授業分析の手法（「学習活動」の観点からの検討）

通常の授業評価では、いくつかの観点に基づいて評価を行っています。大別すると、「学習内容」、「授業技術」、「学習活動」、「学習環境」の四つの観点で評価を行うのが一般的です。教科の検討会では「学習内容」の観点が大変重要で、教材の扱い方をその指導法も含めて検討することが、教科の指導力を高めるのに有効です。しかし、教科の枠を超えて授業力向上に取り組むために、複数の教科の教師が参加する授業研究会においては、「学習活動」の観点からの検討の方が、教科の枠を超えた普遍的な指導法について学び合うことが期待できます。B校においても、同僚教師による授業評価の内容（付箋の記載内容）が、6月に比べて回を重ねた11月の研究授業の方に「学習活動」に関するものが多かった点で、他教科の教師にとっても学びがありました。



生徒が書いた付箋と教師が書いた付箋について話し合う、授業研究会の参加者

#### 研究授業・授業研究会に参加した同僚教師の声

教師側の教え方を見るだけでなく、生徒の学びが成立しているかどうかを見るという視点は新鮮で良かった。自分でも生徒の学びが成立しているかどうかを常に意識しながら授業を行うように心掛けたいと思った。

付箋を用いた授業評価は良い試みだと思う。時間も記入するので、どの時間帯が良く、どの時間帯が悪かったのか一目で分かるのが良い。

他の先生の授業を見ることが、自分の授業の改善に役立つと思う。多くの機会に多くの先生方の研究授業を行った方が良い。

付箋を用いて授業の感想を書かせる方法は、生徒の反応を短時間で確認することができ、個々の生徒の様々な思いに気付くことができるとても良い。

教師が記した付箋に見られる、学習活動など生徒の学びに関する評価の割合

6月

11月

33.3%

41.2%

### ポイント

質問項目をいくつも並べた評価票を使うことだけが授業評価の方法ではありません。紙片や付箋に授業の感想や質問を書かせて生徒の声を聞くだけでも、授業改善に生かすことができます。